



大阪ガス住宅設備

温水トイレ

取扱説明書

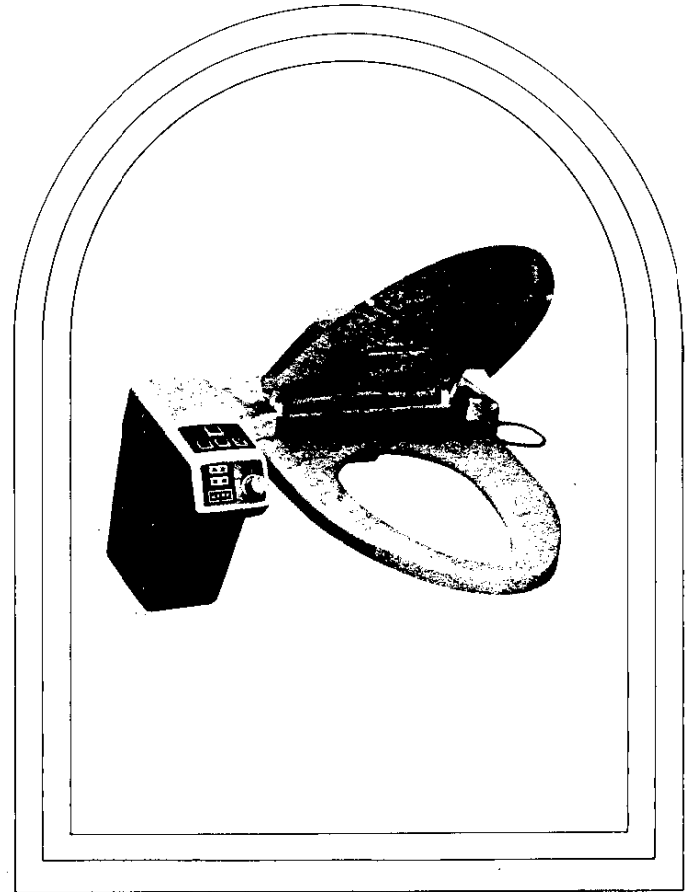
07-111・112型

保証書付

本社・支社所在地および電話番号

本 社	大阪市東区平野町5-1	電話 大阪 06(202)2221	☎541
南 支 社	大阪市西成区玉出東2-9-41	電話 大阪 06(652)0001	☎557
北 支 社	大阪市淀川区十三本町3-6-35	電話 大阪 06(301)1251	☎532
堺 支 社	堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺 0722(38)1131	☎590
北摂支社	高槻市麻の里町39-6	電話 高槻 0726(71)0361	☎569
阪神支社	西宮市和上町4-11	電話 西宮 0798(26)3101	☎662
東部支社	東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内 0729(62)1131	☎578
京阪支社	枚方市西田宮町16-17	電話 枚方 0720(41)1251	☎573
神戸支社	神戸市中央区相生町5-13-10	電話 神戸 078(576)5231	☎650
京都支社	京都市中央区島九瀬池梅屋町358	電話 京都 075(231)8151	☎604
奈良支社	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良 0742(44)1111	☎631
和歌山支社	和歌山市本町1-1-1	電話 和歌山 0734(31)2481	☎640
姫路支社	姫路市神尾町4-8	電話 姫路 0792(85)2221	☎670
東播支社	加古川市加古川町津津29-1	電話 加古川 0794(21)1801	☎675
豊岡支社	豊岡市三坂町6-57	電話 豊岡 07962(3)2221	☎668
湖南支社	厚津市追分町字祝壇680-1	電話 草津 0775(62)5311	☎525
彦根支社	彦根市大東町12-11	電話 彦根 0749(22)3131	☎522
(長浜営業所)	長浜市南呉服町3-4	電話 長浜 07496(2)7171	☎526
南大阪住設営業所	堺市砂道町1-3-3	電話 堺 0722(27)1761-2	☎590
阪神住設営業所	芦屋市打出町6-26	電話 芦屋 0797(31)3474	☎659

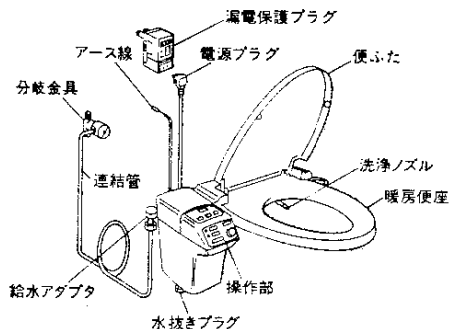
大阪ガス住宅設備株式会社



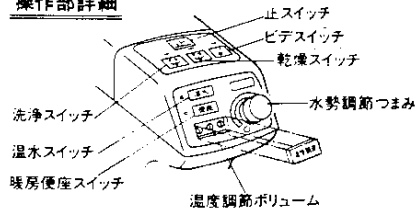
●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

各部の名称

付属部品	数
温度調節用ドライバー (ドライバー受付き)	1本
分岐金具開閉工具	1個

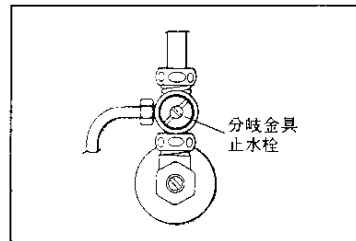


操作部詳細

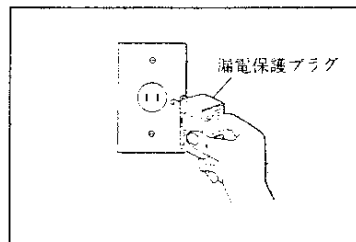


ご使用前に

1. ロータンク止水栓及び分岐金具止水栓が開いているか確認してください。止水栓が閉じている場合は、付属の開閉工具又は市販のドライバーで止水栓を開いてください。



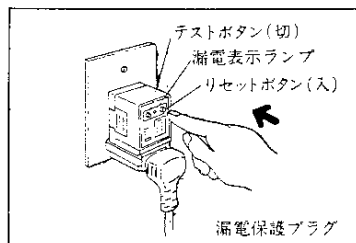
2. 交流100Vのコンセントに漏电保護プラグをセットし、電源プラグを差込んでください。(ノズルがいったん伸出したのち、収納位置に戻り、温水ランプと便座ランプが点灯します)



3. 漏电保護プラグの作動をテストしてください。

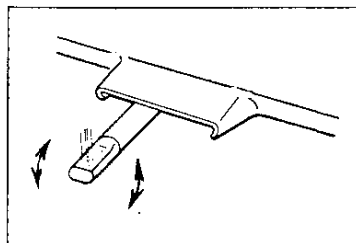
テストボタンを押すと、漏電表示ランプが点灯し、リセットボタンを押すと、漏電表示ランプが消灯すれば正常です。

漏電表示ランプが点灯している状態では、通電されませんのでテスト後は必ずリセットボタンを押してください。



4. 洗淨スイッチ又はビデスイッチを押して、ノズルからの吐水状態が安定するまで吐水させてください。吐水中は手のひらで洗淨水を受けるなど、周囲に飛び散らないようにしてください。

このとき、洗淨水の噴出方向が中心からずれている場合にはノズル先端部分を回転させて噴出方向を調節してください。



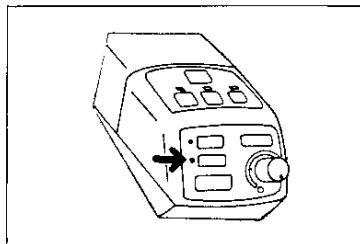
使用方法

1. 暖房便座の使用方式

電源を入れると便座表示ランプが点灯し、便座ヒータに通電されます。

暖房便座スイッチを押せば通電は止まり、表示ランプも消灯します。再びスイッチを押せば通電され、表示ランプも点灯します。

※便座温度は常時適温が保たれるようマイコン制御されます。なお通電してから暖まるまで15分～20分程度かかります。

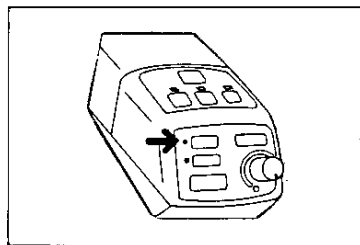


2. 温水スイッチの使用方式

電源を入れると温水表示ランプが点灯し、温水ヒータに通電されます。

温水スイッチを押せば、通電は止まり、表示ランプも消灯します。再びスイッチを押せば通電され、表示ランプも点灯します。

※温水温度は常時適温が保たれるようマイコン制御されます。なお通電してから適温の温水になるまで5分程度かかります。



3. 暖房便座スイッチ及び温水スイッチを切った状態であっても、漏電保護プラグのテストボタンを押したり電源プラグを抜いて、温水トイレ本体への通電を止めると、再び温水トイレに通電したときには暖房便座スイッチ及び温水スイッチは自動的に入ります。

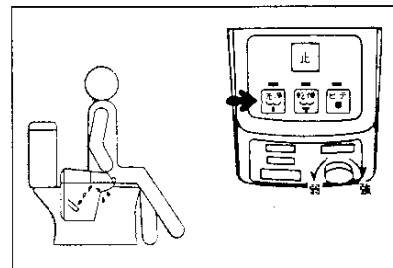
4. 洗浄方式

便座に腰をかけたまま、次の操作を行ってください。

① 洗浄の場合

洗浄スイッチを押してください。ノズルが自動的に洗浄されたのち、洗浄位置まで伸出し、温水が噴出して局部を洗浄します。洗浄が終わったら、「止」又は乾燥スイッチを押してください。

ノズルは収納したのち自動洗浄されます。

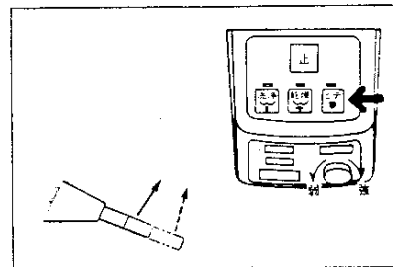


② ビデ洗浄の場合

ビデスイッチを押してください。ノズルが自動的に洗浄されたのち、ビデ洗浄位置まで伸出して温水が噴出して局部を洗浄します。

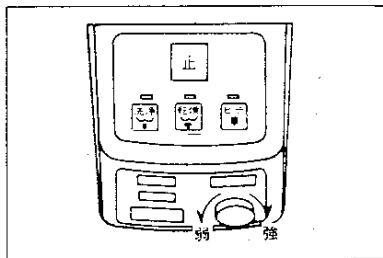
洗浄が終わったら、「止」又は乾燥スイッチを押してください。

ノズルは収納したのち自動洗浄されます。



水勢の調節

水勢が適切でない場合は、水勢調節つまみをゆっくり回して適正な水勢に調節してください。なお、洗浄の際は体を若干動かすと、洗浄効果を高めることができます。



ご注意

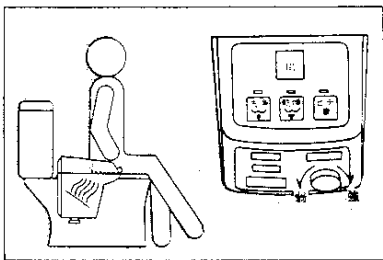
- 洗浄中にノズルのわきからも吐水されますが、これは機能上、必要なもので異常ではありません。
- 「洗浄」から「ビデ」(「ビデ」から「洗浄」)へと切替える場合は、「止」スイッチを押さなくても、「洗浄」又は「ビデ」のスイッチを押すことで各動作に切替わります。
- 洗浄・ビデ・乾燥スイッチは、消し忘れタイマー付となっていますので、万一、「止」スイッチを押し忘れた場合でも5～12分経過すると自動的に停止します。

5. 乾燥方法

便座に腰をかけたまま、乾燥スイッチを押してください。温風吹き出し口から温風が出て局部を乾燥します。このとき、温風が局部に十分あたるように体を若干動かしてください。

なお、あらかじめ、トイレットペーパーで水滴をとっておくと早く乾燥します。

乾燥が終わったら、「止」スイッチを押してください。



温水・温風・暖房便座の温度調節について

温水・温風・暖房便座の温度は適温になるように調整していますので、調節の必要はありませんが、どうしても不具合な場合は付属のドライバーで温度調節部のふたを外し、次の方法で調節してください。

1. 温水温度の調節

温水温度調節ねじを右に回すと高く、左に回すと低くなります。(30℃～41℃まで調節可能)なお、温度が安定するまで約5分かかります。温度が安定してから適温かどうか確認してください。安定温度の吐水持続時間は1分(但し、吐水量500cc/分の時)です。水温が低い時期に連続して1分以上吐水させますと温度は次第に下がります。

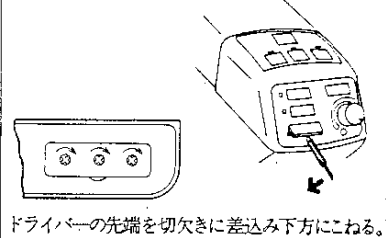
2. 温風温度の調節

温風温度調節ねじを右に回すと高く、左に回すと低くなります。(35℃～55℃まで調節可能)

3. 暖房便座温度の調節

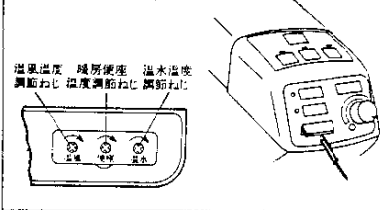
暖房便座温度調節ねじを右に回すと高く、左に回すと低くなります。(25℃～40℃まで調節可能)なお、便座温度が安定するまで約15～20分かかります。適温であるかどうかは便座温度が安定してから確認してください。

ふたの外し方



ドライバーの先端を切欠きに差込み下方にこねる。

※温度調節は必ず付属のドライバーで行ってください。



※各調節ねじは270°以上回しません。絶対に無理に回さないでください。

回転角度

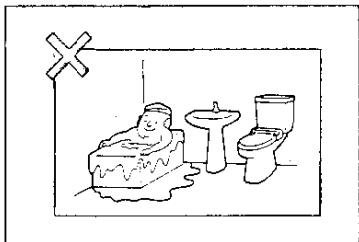
270°



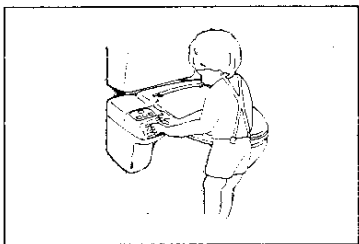
使用上の注意

安全にご使用いただくため、次の点は必ずお守りください。

1. 水がかかったり、表面に結露を生じると、湿気の多い場所での使用は避けてください。特に浴室内では使用しないでください。(故障や事故を起こすことがあります)



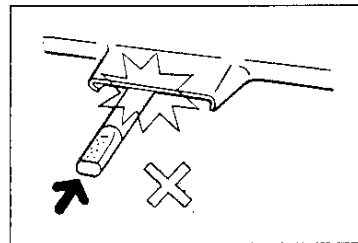
2. 小さなお子様や、お年寄りなどが使用される場合は、取扱いなどについて十分注意してあげてください。



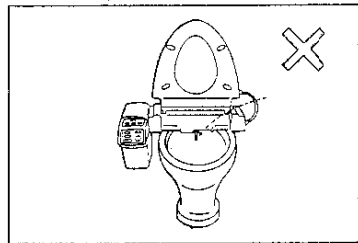
3. 下半身麻痺など温度感覚のない方が長時間ご使用のときは、低温やけどをおこすことがありますので、暖房便座スイッチを「切」にしてご使用ください。また、温風温度も普通よりも低目に調節してご使用ください。

4. 洗浄中に断水したときは、必ず「止」スイッチを押してノズルを元の位置に戻しておいてください。

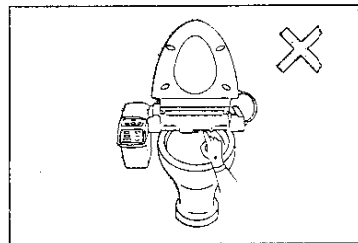
5. 洗浄中に停電したときは、そのまましておいてください。再通電されると自動的にノズルは元に戻ります。ノズルは無理に押し込まないでください。



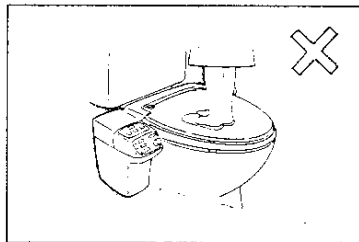
6. 洗浄ノズルに小便がかからないように、ご注意ください。(故障の原因となります。)



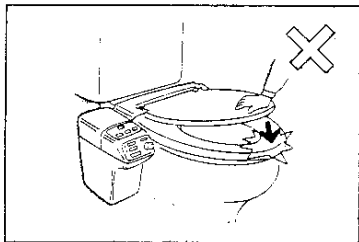
7. 温風吹出し口に、指を入れたり、ふさいだりしないでください。



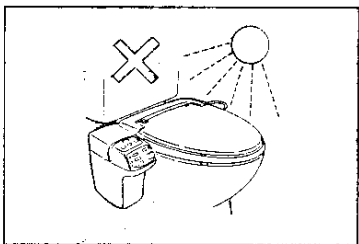
8. 便ふたや本体の上に乗ったり、重いものを
乗せないでください。(割れたり故障するこ
とがあります)



9. 便座及び便ふたの開閉は乱暴に行わないで
ください。(割れたり故障することがありま
す)

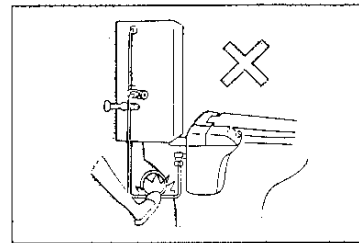


10. 直射日光が当たらないようにしてください。
(変色したり、暖房便座の温度にムラを生じ
ることがあります。)

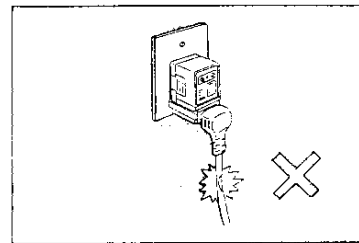


11. 瞬時停電があった場合は、器具の動作が不
安定になることがあります。この場合は、
電源プラグをコンセントから抜き、5秒程
度時間をおいて、再びコンセントに差込ん
でください。

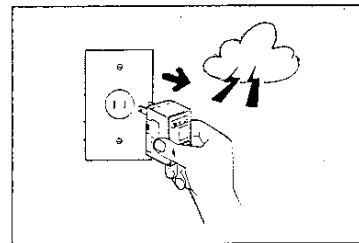
12. 連結管に力を加えないでください。(抜け
ることがあります)



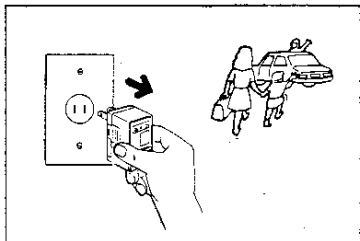
13. コードが傷んだままで使用したり、ガタ
ついているコンセントで使用しないでく
ださい。(火災の原因となります)



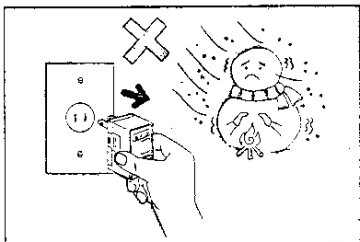
14. 雷が発生しているときは漏電保護プラグ
を抜いてください。



15. 長期間使用しないときは、凍結の恐れがない限り、電源プラグを抜いておいてください。



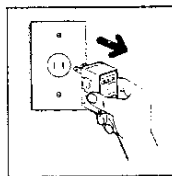
16. 凍結の恐れのある場合は、温水トイレの凍結防止のため電源プラグを抜かないでください。
このとき、温水スイッチは「入」の状態にしておいてください。



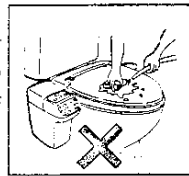
お手入れの方法

1. お手入れの際は次の点にご注意ください。

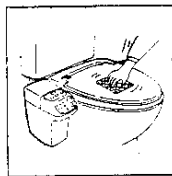
- ①お手入れの際は、必ず電源プラグを抜いてください。プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。



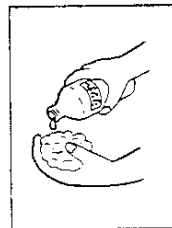
- ④本体や便座に水をかけて洗わないでください。(内部の部品が傷むことがあります)



- ②通常は、乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布でふきとってください。消毒は、逆性石けんを適量にうすめて使用してください。なお、めっきした金具は、ときどきミネン油やカーワックスでふくといつでも美しい輝きを失いません。

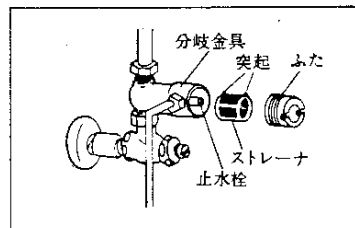


- ③酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤、ベンジン、シンナー及びクレンザー、たわしなどの使用は本体を傷めますので絶対にやめてください。



2. ストレーナの掃除

- 適正な洗浄水が得られなくなったときは、次の手順でストレーナを掃除してください。
- 1) 分岐金具の止水栓を閉める。
 - 2) ストレーナふたを付属の分岐金具開閉工具で外す。
 - 3) ストレーナを取出して、ブラシなどで掃除する。
 - 4) ストレーナを元の位置にもどし、ストレーナふたを取付ける。ストレーナは突起部をふたに差込んだのち本体に組込んでください。



点検・修理

1. 漏電保護プラグは、月1～2回程度作動テストしてください。テストボタン(切)を押すと、漏電表示ランプが点灯し、リセットボタン(入)を押すと漏電表示ランプが消灯する状態が正常です。漏電表示ランプが点灯している状態では、通電されませんのでテスト後は必ずリセットボタン(入)を押してください。

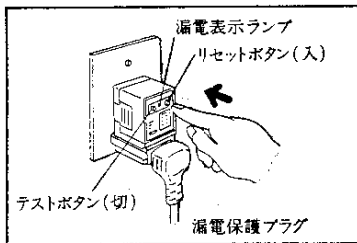
2. 次のような場合は、お求めの販売店又は大阪ガス支社・営業所にご相談ください。

①取扱説明書に従って使用されてもさらにご不審な点があるとき。

②使用中に異常を発見されたとき。

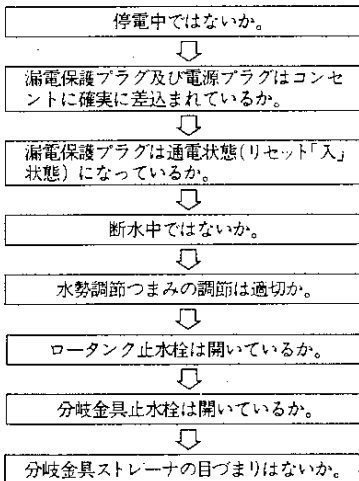
なお修理の依頼先などご不明な点がありましたら、最寄りの大阪ガス支社・営業所にご連絡ください。

3. 修理には特殊な技術が必要です。ご自身の修理は絶対にやめてください。



修理を依頼される前に

修理を依頼される前には、次の確認を行ってください。



以上の確認をしてもなお、異常のある場合は次ページの「故障内容の確認方法」で故障内容を確認し、お買上げ店または、最寄りの大阪ガス支社または営業所へご連絡ください。

温水及び暖房便座スイッチは「切」の状態であっても、停電すると、再通電時に自動的にスイッチが入ります。

故障内容の確認方法

「止」スイッチを押し続けると操作部の各表示灯が故障表示モニターに切替わります。

●「止」スイッチを20秒間押し続けてください。

- ①「止」スイッチを押してから15～18秒経過すると全表示灯（乾燥は除く）が2秒間点灯し、その後故障表示モニターに切替わります。
- ②故障表示モニターで、各表示灯の点灯状態を下表と照合することで、故障内容がわかります。
- ③「止」スイッチを放すと故障表示モニターは解除されます。

○：点灯

×：消灯

	故障内容	表示灯				
		温水	便座	ビデ	洗浄	乾燥
1	温水センサー断線	×	×	×	○	×
2	コントローラ異常(温水系)	×	×	○	×	×
3	コントローラ異常(温水温度異常上昇)	×	×	○	○	×
4	便座センサー断線	×	○	×	×	×
5	コントローラ異常(便座系)	×	○	×	○	×
6	温風センサー断線	×	○	○	×	×
7	コントローラ異常(温風系)	×	○	○	○	×
8	正 常	×	×	×	×	×

*故障表示モニターで正常を示しても製品に異常がある場合は弊社支社又は営業所にご連絡ください。

保証

1. 本製品は、お取付日から1ヵ年保証です。
保証書は販売店からお渡しますので必ず「販売店名・取付日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの上、大切に保存してください。
2. 保証期間中に修理を依頼されるとき。
お求めの販売店又は弊社支社・営業所に保証書を添えて修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。
3. 保証期間経過後修理を依頼されるとき。
お求めの販売店にまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

水洗便器使用のご注意

1. 新聞紙・紙おむつ・生理用ナプキン等、詰まりやすい物は流さないでください。
2. 鉛筆・ボールペン・くし・歯ブラシ等の物は内部でつかえますので、もし誤って便器に落とした場合には水を流す前に必ず拾い出してください。
3. 万一、詰まった時には市販の吸引器(商品名ラバーカップなど)を使用して除去してください。吸引器の使用方法は便器の入口に静かに強く押しつけ、急に手前に引っばってください。
詰まったままで水を流しますと便器から汚水があふれて床を汚すことがあります。
4. 便器に汚物が付着して洗浄しても容易に落ちない時はブラシで掃除してください。
※ブラシや吸引器は、各ご家庭で常備されることをお勧めいたします。

仕様

定 格	交流 100V-868W 50/60Hz		
1時間当りの標準消費電力量	36Wh(1日10回使用で室温・水温15℃の場合)		
電 源 コ ー ド	1.25mm ² ビニルキャブタイヤコード有効長さ1.3m		
洗 浄 装 置	吐水量	洗浄用	水圧2kgf/cm ² の場合200~1200cc/分
		ビデ用	水圧2kgf/cm ² の場合200~1700cc/分
	吐水温度	マイコン制御 標準 38℃(調節ねじで30℃~41℃まで調整可能)	
	ヒーター	シーズヒーター(800W)	
	開閉弁	電磁弁(9W)	
	ノズルモーター	シンクロナスモーター(3W)	
安全装置	温度ヒューズ・温度過昇防止器(手動復帰式バイメタル)・空焚き防止フロートスイッチ		
乾 燥 装 置	温風温度	マイコン制御 標準 50℃(調節ねじで35℃~55℃まで調整可能)	
	ヒーター	コイルヒーター(350W)	
	モーター	くま取りインダクションモーター(18/16W)	
	安全装置	温度ヒューズ	
暖 房 便 座	表面温度	マイコン制御 標準 36℃(調節ねじで25℃~40℃まで調整可能)	
	ヒーター	チューピングヒーター(54W)	
	安全装置	温度ヒューズ	
漏電保護プラグ	15mA 0.1秒以内で作動		
電源ヒューズ	10A		
給水圧力	最低必要水圧 0.5kgf/cm ² 最高水圧 7.5kgf/cm ²		
周囲使用温度範囲	0℃~40℃		
標準寸法	07-111	幅56.5cm 奥行53cm 高さ27cm	
	07-112	幅56.5cm 奥行50cm 高さ27cm	
標準重量	7.5kg		